

新成人の皆さん、国民年金の加入手続きをしましょう

国民年金は、国が責任をもって運営する公的年金制度です。日本国内に住所を有する20歳から60歳までの人は必ず加入しなければなりません。

自営業者や学生などは「第1号被保険者」に、サラリーマンや公務員は厚生年金や共済年金に加入すると同時に「第2号被保険者」に、第2号被保険者に扶養されている配偶者は「第3号被保険者」になります。第1号被保険者となる人は、20歳になったら忘れずに加入手続きをしてください。

国民年金の加入手続はどこで行えばいいの？

国民年金の加入手続は、市民課または各総合支所の国民年金担当窓口で直接、手続きをしてください。

時間に余裕がなく、窓口まで来ることができない場合は、郵送による手続きもできます。

毎月の保険料はいくら？

国民年金の保険料(定額)は、月額15、100円(平成22年度)です。保険料をまとめて前払いすることにより割引される前納制度もあります。

また、定額保険料に加えて月額400円の付加保険料を納付すると、将来、老齢基礎年金に(200円×納付月数分)が加算され支給されます。

若年者納付猶予制度・学生納付特例制度とは？

若年者納付猶予制度と学生納付特例制度は、他の年齢層に比べ所得が少ない若年層(20歳代で学生以外)の人が、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故などにより障がいが残ってしまった場合に、障害基礎年金を受けることができなくなることなどを防止するため、本人の申請により保険料の納付が猶予される制度のことです。

ポイント①

●若年者納付猶予制度→本人と配偶者の所得を審査

●学生納付特例制度→本人の所得のみで審査

一般の保険料免除(全額免除・半額免除)の場合は、世帯主の所得も含めて保険料免除の対象となるか判定しますが、若年者納付猶予は本人と配偶者の所得のみ、学生納付特例は本人の所得のみで判定することになります。

そのため、世帯主の所得が高く、保険料免除の対象とならない20歳代の人でも、若年者納付猶予の対象となる場合があります。学生の人で本人の所得がない場合は学生納付特例の対象となります。

※学生の人は、学生納付特例制度のみ利用できます。

口座振替が便利でお得!

口座振替は、金融機関などの窓口での現金納付に比べて便利でお得です。口座振替には、毎月の保険料が翌月末に引き落とされる翌月末振替と、毎月の保険料がその月の月末に引き落とされる当月末振替(早割)があります。早割は月額50円が割引されます。

口座振替で前納制度を利用する場合は、現金での前納に比べてさらに割引額が高くなります。

例えば、1年前納を口座振替で行った場合は、月々現金で支払った場合の合計額と比較して3、800円の割引(現金での1年前納は3、220円の割引)です。

毎月15、100円は払えない…。 そんなときはどうすればいいの？

20歳になり、所得が少なく保険料を納めることが困難な人については、若年者納付猶予制度や学生納付特例制度などの保険料免除制度を利用することができます。

手続きは、市民課または各総合支所の国民年金担当窓口で行ってください。

ポイント②

●障害・遺族基礎年金を受け取ることができます。

納付猶予や納付特例期間中に、ケガや病気で障がいや死亡といった不慮の事態が発生した場合、障がいの状態に応じて障害基礎年金が、遺族(妻と子)の人は遺族基礎年金を受けることができます。

※障がいや死亡といった事故が発生するまでの国民年金の加入期間の3分の2以上の期間について、保険料を納付、免除または猶予されていること、もしくは事故の直前の1年間に保険料の未納がないことが必要です。

猶予期間などの年金はどうなるの？

○若年者納付猶予・学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません。

○そこで、これらの期間の保険料は、10年以内であれば後で古い期間から順に納付していただけるようになっています(追納)。

○追納する場合の保険料額は、猶予などを受けた年度から起算して、3年目以降に保険料を追納する場合には、承認を受けた期間の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

10/29(金)～11/7(日)

第6回菊池市文化祭

菊池市文化祭が、文化会館など4会場で開催されました。文化会館大ホールでの4支部合同開会式に続き行われた前夜祭演芸会では、各支部代表の社交ダンスや日本舞踊などが披露されました。

期間中、各会場では、子どもから高齢者まで地域が一つになり、絵画や習字、短歌などの展示が行われました。また、中学生による茶道のお点前など、地域の特色を生かした活動も披露されました。

舞台では、吹奏楽やコーラス、大正琴などの演奏を始め、日本舞踊や民謡、社交ダンスなど1年間の研鑽の成果が披露されました。



各支部の発表

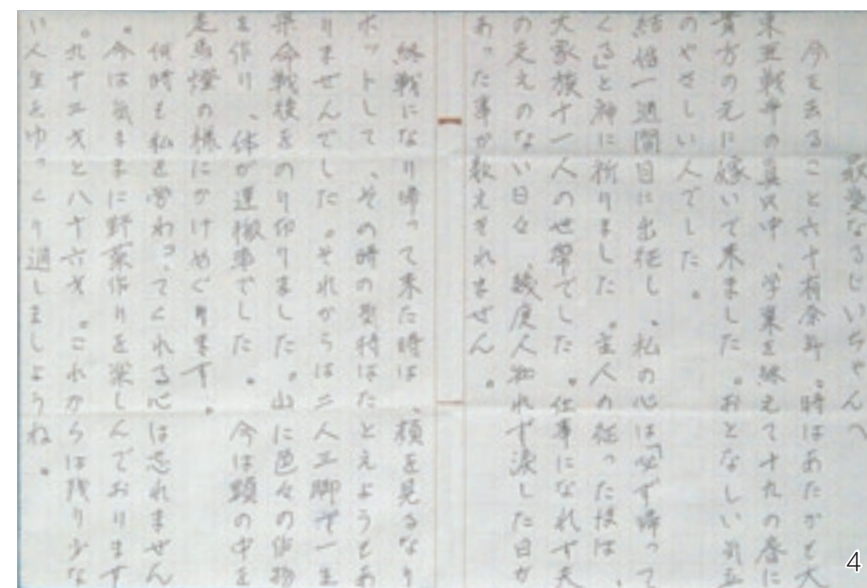
11/22(月) 「第6回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」表彰式が開催されました

菊池市が募集した「第6回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の入賞者が決まり、「いい夫婦の日」の11月22日(月)に、菊池夢美術館で表彰式が行われました。

コンクールには、県内を始め、九州各県や関東地方から手紙部門に37点、絵手紙部門に295点の応募がありました。表彰式では、27人の入賞者一人ひとりに賞状と副賞が贈られました。また、夫婦の手紙大賞を受賞した福岡県朝倉市の安陪知恵子さんが夫である正輝さんに宛てた手紙「最愛なるじいちゃんへ」を朗読しました。



1



2



3

1. 朗読する安陪さんに寄り添う夫の正輝さん、2. 絵手紙部門の最優秀賞受賞作品、3. 絵手紙部門で最優秀賞を受賞した松田幾代さん、4. 夫婦の手紙大賞を受賞した安陪さんの作品「最愛なるじいちゃんへ」コンクール作品は、1月30日(日)まで夢美術館で展示しています。